

溶融亜鉛用の穴により影響を受けるプレース材の RHS K-JOINT の静的強度

C López-Colina, M A Serrano, J Del Coz, P Menéndez (University of Oviedo, Spain) and G Iglesias
(Institute of Tubular Construction, Spain)

概要

本論文は、CIDECT Project 5BX の最初の中間報告から得られた結果に基づいている。本研究は、亜鉛めっきの際に必要とされる管材の側面の穴が接合部の強度に及ぼす影響について評価することを目的としている。

理論的には、接合部付近の穴は接合部の極限強度に影響を与える。この点を評価するためには、管状トラスの最も一般的な結合部を選んだ。つまり、長方形の穴部分である。

この研究は、数値シミュレーションと組み合わせた特定の K-joint についての試験からなる実験研究を必要とする。亜鉛めっきトラスのある建造物を設計する際に、構造技術者が適用できる実用的提案の基礎になることが期待できる。

研究パートナーは、Comite International pour le Developpement et l'Etude de la Construction Tubulaire (CIDECT)、ヨーロッパ一般溶融亜鉛めっき協会 (EGGA)、Ideas en Metal (スペインの製鉄会社)、Condesa (CIDECT のメンバー)、Instituto de la Construcción、オビエド大学である。